

教材名	よみがえれ、えりもの森	教科書	日文	学年	中3
内容項目	自然愛護	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。			
内容項目のとらえ方 (子どもの実態を踏まえ)	豊かな自然の中で生活している本校生徒は、その自然のよさに気づかない、あるいは不便な面を実感して、自分が暮らす地域にマイナスイメージを持つ傾向もある。そのような中で、自然環境についてどう向き合うのかということを考え、議論させ、この地域ひいてはもっと広い範囲で自然と人間の暮らしについて考えるきっかけにできればと考える。				
授業の展開					
子どもたちの活動			指導上の留意点		
<p>1, 「日高昆布」について知る。 発問①これは何？</p> <p>②料理でどう使われる？</p> <p>③海の中でどう生えている？</p> <p>④どう収穫され商品になる？</p> <p>2, 物語を聞く。疑問点を尋ねる。 (最初～50年まで、みんながそうきめかけていた。)</p> <p>3, 発問を考えながら物語を理解する。</p> <p>⑤「どうしてコンブは宝」だったのか？</p> <p>⑥海を再生するために何をしようか？</p> <p>4, 森の再生のために人々がしたことを知る。</p> <p>(1) 牧草の種をまいた。</p> <p>(2) ゴタを種の上に敷いた。</p> <p>(3) クロマツを植えた。</p> <p>(4) ツルハシで掘って水を抜いた。</p> <p>(5) 木を植える仲間が増えた。</p> <p>(6) 流水が海底の砂を押し流した。</p> <p>5, 物語の最後を聞く。 (つぎの年、～木をうえつづける。(終)まで)</p> <p>6, 自分たちの生活とつないで考える。 発問⑦自然が多いこの校区の良い点、良くない点をあげる。</p> <p>⑧将来この校区に住み続けたいか？</p> <p>⑨将来この校区の自然や暮らしがどうなっていけばよいとおもうか？</p> <p>以上の点に関して意見交換をする。</p>			<p>実物の日高昆布を見せる。</p> <p>出汁の取り方や料理の写真や動画を見せる。 海中のコンブの写真 コンブ漁・浜干しの写真</p> <p>教材の前半をプリントにしてゆっくり読んで聞かせる。北海道日高地方の写真などを示す。</p> <p>豊かな海で高品質で高価なコンブが獲れたことを理解させる。 森を再生しようとしたことを理解させる。</p> <p>(1)～(6)の部分は、教科書の文章では読まずに、カードにして黒板に貼って、その手立てと結果について説明する。</p> <p>そしてこのとりくみが50年以上も続けられていることを理解させる。</p> <p>プリントにして読んで聞かせる。特にカシワ、ミズナラなどの語句の説明を加える。</p> <p>⑧は4択 ア、住み続けたい。 イ、一度は出ていくが戻りたい。 ウ、住み続けたくない エ、他で暮らす時々戻ってきたい。</p>		
			<p>これは一例です。この部分は学校、校区の自然と生活の実態に応じて変えていかなくてはならないと思います。</p>		